

読んでほしいな。

ティーンズコーナー 新着図書1月分

新しく入った本の中から
ピックアップして紹介します



これが目じるし↑

【うちのネコ、ボクの目玉を食べちゃうの?】

ケイトリン・ドーティ/著 十倉実佳子/訳 化学同人
大人では思いつかなかったり、避けてしまいがちだったりする子どもからの死や死体に関する遠慮のない質問。葬儀ディレクターとして、死のさまざまなあり方を発信する著者が、実体験を踏まえて、科学的根拠を示しつつユーモラスかつ、大真面目に回答する。普段は遠ざけてしまう死が、身近なものになりそうな一冊。

【世界一くさい食べもの なぜ食べられないような食べものがあるのか?】

(ちくまQブックス) 小泉武夫/著 筑摩書房
納豆なんてかわいいもの。脱ぎたてのお父さんの靴下の60倍以上くさいという魚の缶詰「シュール・ストレミング」など、世界には嗅いだだけで気絶しそうなほど、くさい食べ物がたくさんある。それどころか多くの人が喜んで食べている。いったいなぜ? その謎に迫る。

【国語をめぐる冒険 (岩波ジュニア新書)】 渡辺 泰明ほか/著 岩波書店

国語には、未知の世界や存在があふれている! 危険を恐れず踏み出すと待ち受けている新しい自分や他者、言葉との出会い、そして成長への機会……。学ぶ意味や楽しさ、さらには国語を使ってどう生きるかを語る一冊。

【大学学部調べ 農学部 中高生のための学部選びガイド (なるにはBOOKS)】

佐藤成美/著 ペリかん社
農業だけでなく第一次産業を軸に自然と人や社会のかかわりを扱い、植物、動物、生命、森林、環境、バイオテクノロジーを学ぶ「農学部」。「どんな勉強をするのか」「どんな希望がかなうのか」などの疑問を解決し、高校生の進路を考える手助けをするシリーズ。

読みたかった本がある…
…かもしれない
《ティーンズコーナー》
をのどきに来てね。